

行政評価シート

事務事業名	妊婦健康診査			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	I. 妊娠から出産までの支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	妊婦に対して健康診査費を補助することにより、妊婦が安全で正常な出産ができる。ハイリスク妊婦を早期に把握する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	妊婦健康診査費用を補助。
------	--------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	受診率			指標の単位	%
指標の説明	妊婦健診の受診券を交付した者に対して、受診をした人数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	95%	95%	100%	100%	100%
実績値	90.30%	99.45%	98.0%	98.4%	
達成度(%)	95.05%	104.68%	98.0%	98.4%	

指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					

【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった

【説明】	妊婦の安全な出産のために必要な健診を行うとともに、ハイリスク妊婦を把握し支援を行うことができた。	所管課評価
		B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	さらなる受診率向上を目指して周知を行い継続とする。

行政評価シート

事務事業名	特定不妊治療費助成事業		事業開始年度	平成25年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	I. 妊娠から出産までの支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	不妊治療に係る費用補助を行うとともに、不妊に関する啓発・相談等を実施する。
-----------------	---------------------------------------

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	不妊治療に係る費用補助を行うとともに、不妊に関する啓発・相談等を実施した。
------	---------------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	妊娠者数			指標の単位	人
指標の説明	不妊治療を実施し、妊娠した人数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	22	10	10	10	10
実績値	5	7	14	6	
達成度(%)	22.7%	70.0%	140.0%	60.0%	
指標名②	新年度新たに申請			指標の単位	人
指標の説明	継続者だけでなく新たな利用者への拡大				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	1	1	10	10	10
実績値	14	3	6	7	
達成度(%)	100.00%	100.00%	60.0%	70.0%	
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	特定不妊治療による妊娠者も増加しているので概ね順調。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	今後も特定不妊治療により妊娠者も増加していくと思われるので継続とする。 平成30年度から一般不妊治療の助成も開始したため不妊治療の助成制度の周知や不妊に関する知識の普及をさらに行う。

行政評価シート

事務事業名	出産時交通費補助事業			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	I. 妊娠から出産までの支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	出産時に医療機関までの移動にかかる経費を支給することにより、安心して妊娠出産できる。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	出産時に医療機関までの移動にかかる経費を支給した。
------	---------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	タクシー利用者			指標の単位	人
指標の説明	出産時にタクシーを利用した人数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	356	369	350	372	350
実績値	11	21	17	17	
達成度(%)	3.09%	5.70%	4.9%	4.6%	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	タクシーの利用者は少ないが、家族や協力者が不在の場合に利用できることで妊産婦の負担の軽減は図ることができる。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	出産や出産後の退院時に家族や協力者が不在の場合にタクシーを利用できることで妊産婦の負担軽減となる。また、タクシーを利用しなかった場合にもガソリン券として利用できるため経済的負担の軽減となるため継続とする。

行政評価シート

事務事業名	産後ケア事業(日帰り)			事業開始年度	平成28年10月
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	I. 妊娠から出産までの支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	出産後の心身機能の回復のため母子のケアや授乳指導・育児相談を受けることで産後の不安や負担の解消につとめ安心して育児できる環境を整える。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	産後5か月未満の母子に対し日帰りケア、7日以内。 母子の健康チェック、助産師による乳房ケアや授乳相談・沐浴支援・育児相談の実施。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	妊娠出産について満足している人の割合			指標の単位	%
指標の説明	第二次健康増進計画による指標				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値		100	100	100	100
実績値		245/315人中			
達成度(%)		78.6			
指標名②	産後ケア事業利用者数の増加			指標の単位	人
指標の説明	母の希望日に専門職による相談支援が受けられ、不安の解消がはかれる				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値			100	100	100
実績値			55	93	
達成度(%)			55.0%	93.0%	
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	令和元年度は宿泊ケアが開始されたことで組み合わせて利用するなど前年度より利用者が増加した。育児の不安がある方やハイリスクの産婦が継続的に利用・支援できるよう、子育て包括支援センターと連携を図りながら実施した。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	平成28年10月から日帰りケアを、平成31年4月から宿泊ケアを開始し、家族の支援者の状況や母のニーズに合わせて日帰り・宿泊を組み合わせて利用できる。 現在施設側の安全面の都合上出産後5か月未満の女子及び乳児としているが母子保健法の改正により対象者が出産後1年を経過しない女子及び乳児と延長された。産後ケアは現状のまま継続しながら、出産後1年を経過しない女子及び乳児の支援策の検討が必要。

行政評価シート

事務事業名	乳幼児健診 健康相談			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	Ⅱ. 母子の健康づくり、健康相談

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	母子保健法に基づき乳幼児の健康診査・相談の充実を図り、疾病・異常の早期発見と早期対応を講じるとともに、育児支援並びに健康増進の援助を行い、もって乳幼児の健全な発育発達を期する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	乳幼児健診(4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児) 乳幼児健康相談(離乳食ふれあい教室、2歳児、こども発達相談)
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	子育てに自信が持てない母親の割合			指標の単位	%
指標の説明	母親の育児不安等に添った支援となっているか評価する。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	減少傾向	減少傾向	減少傾向	減少傾向	減少傾向
実績値	37.0				
達成度(%)					
指標名②	乳幼児健康診査			指標の単位	%
指標の説明	乳幼児健康診査の受診率				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	100	100	100	100	100
実績値	95.3	94.7	97.2	95.5	
達成度(%)	95.3%	94.7%	97.2%	95.5%	
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】					
【説明】	子育てに自信がない母親の割合については市健康増進計画で約5年ごとにアンケートで評価。 乳幼児健康診査は乳幼児の疾病や異常の早期発見と保護者への育児支援を行う機会となった。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	離乳食に関する相談が多かったため、7か月児・1歳児健康相談を平成30年度より「離乳食ふれあい教室」として実施した。 乳幼児健診・健康相談は疾病の早期発見に加え、育児不安を軽減するための支援の機会として現状のまま継続とする。

行政評価シート

事務事業名	子育て世代包括支援センター			事業開始年度	H30
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	Ⅱ. 母子の健康づくり、健康相談

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	妊娠期から子育て期にわたる、育児や健康等に関する相談及び切れ目のない支援体制を一体的に実施する拠点として管理運営を行う。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	・妊産婦および乳幼児の実情の把握。・妊娠出産子育てに関する各種相談に応じ必要な情報提供、助言、保健指導の実施。・支援プランの作成
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	相談者数の推移			指標の単位	人
指標の説明	妊娠期から子育て期における、Mum利用者の実績による				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値			448	1710	1200
実績(見込)値			448	1710	1200
達成度(%)			100.0%	100.0%	
指標名②	助産師相談者数			指標の単位	人
指標の説明	育児や子育ての不安を軽減するため、助産師相談を行い、実績で評価する				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値			59	205	100
実績(見込)値			59	205	100
達成度(%)			100.0%	100.0%	
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談や来所相談の対応は、随時行う。 ・出産前後の個別相談には助産師の相談日を設定しより充実を図る。相談の内容に応じて、歯科衛生士等の対応も行う。 ・母子手帳交付時にセルフプランの作成を行っているが、今後要支援者に対し支援プランの作成を行う。 				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業については令和2年度の当初計画をもとに現状維持。また、多胎児支援として、新型コロナ対策をしながらオンラインでの相談やピアグループの育成を計画する。 2 会場について、助産師の相談日には、来所者が多くなる傾向があり、相談場所が手狭になっている。新型コロナの感染拡大予防のためにも、相談スペースの拡大を行い、安心して相談できる場を確保する。 3 利用者の満足度を確認し、今後の方針に役立て、さらに充実を図る。

行政評価シート

事務事業名	乳幼児健診・相談事業(こんにちは赤ちゃん事業)	事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課
		担当係	子ども家庭係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援
取組事項	Ⅱ. 母子の健康づくり、健康相談

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行うため、生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭の全数を訪問する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	第1子及び第2子以降のハイリスク家庭は保健師が訪問、その他の家庭については助産師、NPO委託による訪問を実施した。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	出生児訪問率			指標の単位	人
指標の説明	訪問数/出生数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	352	330	330	313	350
実績(見込)値	335	311	313	303	350
達成度(%)	95.2	94.2	94.8	96.8	100.0
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	年度末に出生した場合等は次年度で訪問になるため達成率は100%となっていないが、出生時に訪問することで早期に養育環境を把握することができ、必要な支援を検討することで虐待防止に資する効果も認められるため、十分な効果があった。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	全数訪問を目標として、現状のまま継続する。